

「秋田産業保健総合支援センターでのソーシャルメディア業務利用にあたって」

1. 公式アカウント

労働者健康安全機構 秋田産業保健総合支援センター（以下、「秋田産保」という。）では、次のソーシャルメディアを利用しています。

SNS名	アカウント名	URL
X(旧 Twitter)	秋田産業保健総合支援センター【公式】	https://twitter.com/akitasanpo

秋田産保が公式に業務利用するソーシャルメディアは、このページに記載のあるものに限りです。

名称や内容が類似するものであっても、このページに記載されていないものは秋田産保が運用しているものではなく、その内容については責任を負いかねます。ご注意ください。

2. ソーシャルメディアでの情報発信について

秋田産保が業務利用するソーシャルメディア上では、主任管理責任者（＝所長）の承認を得て、管理責任者のみが公式見解の情報発信（以下、「発信」という。）を行うものとします。

秋田産保関係者による発信であっても、公式アカウント以外のソーシャルメディアでの発信は、秋田産保としての公式見解を表すものではありません。

- ・ 主任管理責任者（所長）
- ・ 運用管理者（副所長）

3. 基本的遵守事項

秋田産保では、ソーシャルメディアを業務利用するにあたり、以下の事項を遵守します。

- ・ 法令やルールを理解し、遵守します。
- ・ ソーシャルメディア上の議論を操作することを目的とした行為は行いません。真摯で誠意ある対応をし、虚偽の発信は行いません。
- ・ 発信する情報は正確を期するとともに、その内容について誤解を招かぬよう留意します。
- ・ 基本的人権やプライバシー権、著作権など、他者の権利を侵害しないよう十分に配慮します。情報発信にあたり、第三者の了承が必要な場合は、事前に関係者の承諾を得ます。
- ・ ソーシャルメディア上での議論に耳を傾け、秋田産保に対する意見を真摯に受け止めます。議論に関して公式見解を出す必要がある場合は、管理責任者にて対応いたします。

4. 利用者の皆さんへ

利用者の皆さんにも、以下の事項に留意の上、秋田産保のソーシャルメディアをご利用いただきますようお願いいたします。

なお、本ページに掲載しているソーシャルメディアを閲覧し、また、そこにコメントをするなどした方については、以下の事項についても確認いただいたものとさせていただきます。

- ・ 秋田産保の公式アカウントから発信されるコンテンツの著作権（もしくは知的財産権）は、特に記載されているもの以外は、全て秋田産保に帰属しています。
- ・ 秋田産保の公式アカウントの発信内容の使用、引用等を行なう場合には、可能な限り、情報の出典を明らかにしてください。

- ・ 秋田産保の公式アカウントのリンク先の情報の著作権については、リンク先サイトの規約等が適用されます。リンク先が秋田産保のホームページの場合は、秋田産保のサイトポリシーが適用されます。
 - ・ 秋田産保の公式アカウントの内容の正確性、運用上のセキュリティの確保等には細心の注意を払っておりますが、コンテンツの誤り、第三者による人為的改ざん等が発生する可能性を全て排除することを保証するものではなく、秋田産保は、利用者が秋田産保の公式アカウントおよびそのアカウントから発信された情報を利用することによって生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。
 - ・ 秋田産保のアカウントの発信内容には、利用者の便宜のため、秋田産保の責任の及ばない第三者が提示したコンテンツ、リンク、及びその他の情報が含まれることがあります。これらの利用により生じた一切の損害(直接的、間接的を問わず)について、秋田産保は責任を負うものではありません。
 - ・ 秋田産保の公式アカウントは、予告なしにサービス内容・形式の変更、一部又は全部の機能の提供を停止または終了を行なうことがあります。
 - ・ 秋田産保は、秋田産保の公式アカウントの変更、停止および終了に関するいかなる責任も負いません。
 - ・ コメント等への返信は原則として行いません。(お問い合わせについては、ホームページ内の「お問い合わせ」からご連絡をお願いいたします。
 - ・ また、大勢の方に秋田産保のソーシャルメディアを快適に利用していただくため、次に掲げることは禁止させていただきます。
 - ① 他者を侮辱する言い方、発信内容
 - ② 人種、思想、信条等について差別する発信、または差別を助長するような発信
 - ③ 違法もしくは不当な発信、またはそれらの行為をあおるような発信
 - ④ 秋田産保または他の閲覧者に損害を与えるようなサイト及びわいせつな内容を含むサイトに関する情報を発信すること。公序良俗に反する情報を発信すること。
- ※ 上記①～④に該当するコメントを投稿するユーザーは、ブロックする場合があります。各アカウントの適切な運用を妨げるユーザーは永久にブロックする場合があります。

5. 運用内容の変更

この運用内容は、事前に告知なく変更する場合があります。

6. 附則

- ① この運用内容は、令和5年7月4日から適用します。